

JR 四国 2600 系

～四国に新たな気動車の風～



レスポンス(response.jp/imgs/thumb_h2/1155322.jpg)から引用

1.概要

JR 四国 2600 系気動車(以下 2600 系)は、同じく気動車である 2000 系やその試作車の TSE、改良型の N2000 系(これらを以下 2000 系系列とする)の老朽化に伴い製造され、2017 年秋から営業運転を開始する予定です。

2. 車両デザイン

(1)外装

外装は、デザインコンセプトを「Neo Japonisme(ネオ ジャポニスム)」に設定し、四国の豊かな自然に映える赤を基調にしながら吉兆の伝統配色である、「赤と金」で彩っています。

(2)内装・車内設備

内装は、乗降扉に枯れ山水の波紋、トイレのドアには、市松模様を取り入れ

たデザインを使用しており、シートはえんじ色と紺色で、一両ごとに違う雰囲気
を味わえる車両となっています。

JR 四国では、連結する車両数や需要などを考慮し、一車両内に自由席と指定
席がある車両がありますが、2600系もその一つです。

そこで従来の車両には「指定席専用」の枕カバーを採用していたものを、2600
系では荷棚に緑色のランプを採用しました。この方式を採用したことによりどこ
からどこまでの席を指定席にするか、ということを柔軟に設定することができる
ようになりました。

他にも2600系は、車いすに乗っている方でも使いやすいように、SOSボタ
ンを低い位置に配置したり、またトイレは電動車いす、オストメイトに対応して
いるほか、温水洗浄便座、ベビーベッド、ベビーキープやストッキングを履き替
える際に便利なフィッティングボードが用意されました。

車内照明はLEDで消費電力とメンテナンスの軽減が図られました。車内には、
防犯カメラが設置されています。



(左)指定席を示す緑色のランプ、(右)低い位置にある SOS ボタン

どちらも乗り物ニュースから引用

(左)(contents.trafficnews.jp/image/000/007/862/170219_2600_01.jpg)より引用

(右)(contents.trafficnews.jp/image/000/007/865/170219_2600_04.jpg)より引用

3.車両性能

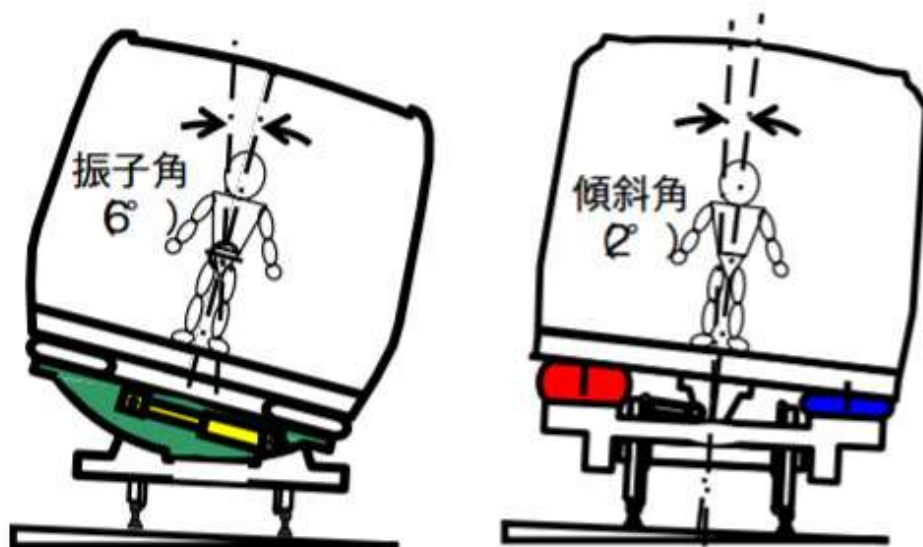
2600系ではこれまで主流だった「制御付き自然振り子装置(以下振り子装置)」
ではなく、「空気バネ式車体傾斜装置(以下車体傾斜装置)」が採用されました。

なぜ「振り子装置」ではなく「車体傾斜装置」が採用された理由としては、
構造が簡素なことです。これにより低コストで、メンテナンス費用も安く抑える
ことと、2600系の電車版と言える8600系と機器を同じにすることで整備の効
率がよくなることです。

もうひとつは、傾斜角度が小さく車体を大きくできることです。「振り子装置」

の場合、傾斜角度は 6 度ですが、「車体傾斜装置」の場合、車体と台車の間にある「空気バネ」、いわゆるクッションに空気を入れたり抜いたりすることで車体を左右に傾けるもので傾斜角度を 2 度に抑えられます。これにより、車体の断面が大きくなりました。つまり、室内空間が広がり、居住性のアップにつながるのです。

また、最高速度は 120km/h となっていますが、既存の 2000 系系列は、130km/h(一部の車両を除く)です。最高時速を下げた理由としては、JR 四国には、カーブ区間が他と比べて多いということ。カーブが多いので、130km/h という在来線トップクラスのスピードが出せる場所が少ないのです。



「振り子装置」(左)と「車体傾斜装置」(右)の違い

乗り物ニュース(contents.trafficnews.jp/image/000/007/829/170218_2600_04.jpg)から引用

4.置き換え車両

概要でも前述した通り、2600 系は 2000 系系列の老朽化に伴い製造されました。そのため 2000 系系列を順次置き換えることになっています。

しかし JR 四国では 2000 系系列より古いキハ 185 系が活躍しています。そのため真っ先に 2000 系系列が廃車になることは、あまり考えられないでしょう。



(左)2000系、(右)TSE

5.投入路線

2600系が投入される路線は残念ながらまだ決まっていません(2017年8月中旬現在)。しかし8月12～15日に徳島市で行われた「阿波踊り」開催に伴い高徳線で臨時特急「阿波踊り号」にて使用されました。

しかし2000系系列を置き換えるとのことなので、現在2000系系列が走行している予讃線特急「宇和海」、「ミッドナイト EXP 高松」、「モーニング EXP 高松」や高徳線特急「うずしお」、土讃線特急「南風」、「しまんと」、「あしずり」に投入される可能性が高いです。

6.最後に

最後までお読みいただきありがとうございました。乗る機会は少ないと思いますが、2600系に乗りに行ってみてはいかがでしょうか。

7.参考文献

鉄道ファン 鉄道ニュース

railf.jp/news/2017/01/31/120000.html

乗り物ニュース

trafficnews.jp/post/65222/

trafficnews.jp/post/65111/2/

JR 四国公式ホームページ

www.jr-shikoku.co.jp/

特に記載なければ筆者撮影